



緊急
情報!!

早急に「中干し」を実施しましょう!!

5月は気温が高く日照時間も多く推移し、分けつの発生も旺盛で、生育過剰が懸念されています。今後も高温傾向が続くと予想されています。籾数が多すぎると「乳白粒」や「くず米」が多発しますので、まだ中干しを実施していない圃場は早急に中干しを行ってください。

中干し終了時期 ゆめみづほ：6月22日頃、コシヒカリ：7月5日頃

うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~6	1. 播種量（うす播きの励行） 2. 育苗日数（健苗の育成） 3. 植付本数（細植えの励行） 4. 栽植密度（優良茎の確保） 5. 適正な施肥（栄養凋落防止と登熟向上） 6. 田植え時期（早植えの防止）	
7	中干し・溝切り (遅発分けつの抑制)	・ 田植え 1か月後 からの実施（過剰生育防止） ・ 中干し期間 1か月 （コシヒカリ）の遵守
8	除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・ 7月上旬までの追加除草 ・ 水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施
9	水管理 (飽水管理の徹底)	・ 中干し後から出穂までの約 1か月 （コシヒカリ）の飽水管理 ・ 出穂から刈取り直前までの 1か月以上 の飽水管理
10	刈取時期 (適期刈取りの励行)	・ 籾の黄化程度に応じた刈取り

水稻の生育状況

生育状況（管内生育観測田平均、6月8日調査）

ゆめみづほ					コシヒカリ				
草丈 (cm)		茎数 (本)			草丈 (cm)		茎数 (本)		
本年	平年	本年 (株)	本年 (m)	平年 (m)	本年	平年	本年 (株)	本年 (m)	平年 (m)
35.4	31.1	27.9	533	394	32.0	32.8	17.4	302	314

- 株で き：ゆめみづほの茎数は平年より多くなっています。コシヒカリの茎数は平年並みとなっています。
- 葉数の展開：ゆめみづほは平年より1~2日程度早まっています。コシヒカリは平年並みとなっています。
- 出穂：ゆめみづほの出穂予想 7月17日頃が見込まれています。

今月のポイント1 ゆめみづほの穂肥

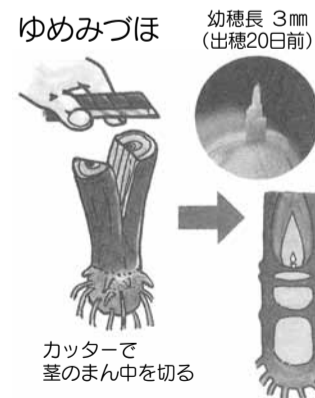
①基肥一発（スリム早生一発くん） 一俵増収を目指しましょう

BBとれるぞう 10kg/10aを7月7日~10日を目安に施用（出穂の10日前頃）

②分施タイプ（一発肥料を使用していない圃場）

穂肥（BB米姫）の施用時期と施肥量

1回目	2回目
米姫20kg/10a	米姫20kg/10a
幼穂長3~5mm 出穂20日前	止葉展開 出穂10日前
6月26日~28日	7月6日~8日



注) 幼穂長を確認してから穂肥を施用しましょう。

★穂肥の時期が早すぎたり施肥量が多すぎると籾数が過剰になり、未熟粒の発生や倒伏の原因となりますので、必ず適期に適量を施用してください。

ゆめみづほ
1回目穂肥時期
(出穂20日前の標準的生育)

草丈 50~55cm
茎数 30~35本/株
葉色 4.0~4.2

裏面に続きます

「ゆめみづほ」の一俵増収！
一発肥料でも穂肥を

「ゆめみづほ」青田研修会に参加しましょう！

カメムシ防除のため、7月上旬までに畦畔・農道等の仕上げ除草を！

6月18日、19日は一斉除草デーです！

今月のポイント2 コシヒカリの登熟向上対策 ⇨営農の手引き19ページも参照ください

珪酸加里プレミア 30kg/10aまたは PKけいさん特号 40kg/10aをまだ施用していない方は早めに施用しましょう。

○「けい酸パワーコシー発くん」を施用した圃場には散布する必要はありません。

今月のポイント3 乳白粒発生防止対策 ⇨営農の手引き4ページも参照ください

～幼穂形成期から出穂後3週間までの水管理は間断通水で～

稲は、幼穂ができ始めてから出穂後3週間までの間に最も水を必要とします。

(幼穂形成期=ゆめみづほ；6月22日頃、コシヒカリ；7月5日頃)

中干し後は3日間隔の間断通水を行い、土壌表面が常に湿った状態に保ちましょう。

今月のポイント4 カメムシ対策 ⇨営農の手引き20ページも参照ください

- ①カメムシの生息密度を下げるため、畦畔・農道等の除草を行いましょう。
→刈った草が用排水路に入らないように注意しましょう。
- ②7月上旬までに仕上げ除草を実施し、中旬以降の草刈りは行わないようにしましょう。
→7月中旬以降の草刈りはカメムシ類を水田内に追い込むことになります。

今月のポイント5 稲こうじ病の防除対策 ⇨営農の手引き22ページも参照ください

止め葉が出るまでに「撒粉ボルドー粉剤DL」を4kg/10a散布してください。散布時期は出穂の14～10日前です。(早生：7月5日頃、コシヒカリ：7月中旬)

- 常発地や過去3年以内に発生した圃場では、必ず継続して散布を行ってください。
- 玄米に混入すると規格外となります。

JA石川かほく米555共励会 今月のポイント

- 中干しを徹底して過剰生育を抑制し、乳白粒発生防止・単収アップ
- 珪酸加里プレミア施用で、登熟向上・品質向上・単収アップ
- 畦畔・農道等の除草でカメムシ類の生息密度を下げて、品質向上
- ゆめみづほでは基肥一発肥料を散布した圃場でも「BBとれるぞう」を追加施用し、単収アップ

「ゆめみづほ」青田研修会日程

開催日	曜日	開催時間	開催場所
6月22日	水	17:30～	JAグリーン前(舟橋)
6月22日	水	17:30～	津幡東支店前
6月22日	水	17:30～	JA配送センター(かほく市森)
6月23日	木	17:30～	JA大海倉庫前
6月23日	木	17:30～	JA萩坂倉庫前

都合のよい会場にご参加ください

新技術実証圃の巡回・研修日程

開催日	曜日	集合時間	集合場所
7月5日	火	16:30～	営農経済部前駐車場

鉄コーティング直播栽培圃場の巡回を行います

水稻栽培履歴への記入確認をお願いします。